

# 総会議案書

2023年4月15日（土）

午後1時30分

置賜総合文化センター

米沢古文書研究会

## 米沢古文書研究会議案書

- 1 2022 年事業報告
- 2 2022 年決算報告
- 3 2023 年事業計画（案）
- 4 2023 年予算(案)
- 5 役員名簿(案) 本年は改選時期
- 6 会員名簿
- 7 会則

## 2022 年度事業報告

### 1. 例会日程

I 部 (第 3 土曜日)	II 部 (第 4 土曜日)
(直江状→高橋家文書、増補旅使奏訓)	(式目、国政談下)
2022 年 4 月 16 日 総会 (終了後中伊佐沢村文書勉強)	4 月 23 日
5 月 21 日 直江状終了	5 月 28 日
6 月 18 日 高橋家文書開始	6 月 25 日
入門講座を 7 月 9 日, 16 日の各土曜日午後 1 時 30 分~4 時	
7 月 2 日	7 月 23 日
9 月 17 日	9 月 24 日
10 月 15 日 研修旅行	10 月 22 日 ミニ講演・式目
11 月 19 日 (午前中 古文書解読相談会)	11 月 26 日
12 月 17 日 (第 3 土曜日)	12 月 10 日 (第 2 土曜日)
2023 年 1 月 21 日	1 月 28 日 国政談・新春茶話会
2 月 18 日	2 月 25 日
3 月 18 日 午前中理事会開催	3 月 25 日 (例会後監査)

### 2. 新型コロナウイルス感染症対策

・2022 年度も 2021 年度に引き続き、3 年目の新型コロナウイルスに明け暮れた年だった。2022 年 2 月 19 日 (土) から 3 月 19 日 (土) まではコミセン閉鎖となり例会を中止し、3 月 26 日 (土) からは例会を再開し、2022 年 4 月から閉鎖はなかったが、連日 1000 人超の県内感染者もある中で、マスクなど感染防止対策をとりながら、例会の実施を行って来た。例会中止の影響で、2022 年 3 月までには終了予定の直江状の終了が 5 月となり、その後に高橋家文書を開始することになった。

### 3. 初めての古文書入門講座

・7 月 9 日と 16 日の 2 日間実施した。鷹山没後 200 年であるところから師の細井平洲「嚶鳴館遺草」から『つらつらふみ』を教材として入門講座を実施した。  
・講師は中村善治さんと中村恵子さんが担当した。研究会ホームページに教材が掲載されている。会員 15 名、一般参加 8 名の参加があり、参加者から 1 名の入会があった。

### 4. 研修旅行実施

10 月 15 日 (土) 9 時 15 分運動公園駐車場集合で、「成島八幡と草木塔を訪ねる旅」として会員 16 名が参加して実施した。成島八幡神社を会員でもある米沢図書館の石黒さんと神

社氏子代表の佐藤弘輔さんに説明していただいた。

その後、田沢寺の荒澤教真住職の説明で、田沢コミセンで展示されている草木塔の写真、木流し絵図を閲覧、上中原・大明神沢の草木塔現地の観察を行い、道の駅田沢で昼食をとり、三沢コミセンに移動して荒澤住職から草木塔に関する丁寧な説明を受けた。なお、当時、国道 121 号線は土砂崩れのため道の駅田沢から喜多方へは不通となっており、また、田沢コミセンは、地元の文化祭のため講義会場を借りられなかった。

なお、9月8日（木）に永井、中村（善）、高橋（敬、育）の4人で草木塔、田沢コミセンの下見と、田沢寺において荒澤住職と打ち合わせを行った。

## 5. 秋のミニ講演会

10月22日（土）13時半から文化センターで、秋のミニ講演会を実施した。通常は午前中に実施しているが講師武田節子さんは福島市から来るため午後とした。武田さんは「水と安全はただか？」の演題で、イザヤ・ベンダサンから始まり、自己紹介やご自身の豊富な海外体験をベースにした実感など、わかりやすい講話だった。18名参加。

講演終了後、2部例会の御代々式目講義を行った。

## 6. 古文書解読の相談（各家庭に埋もれている古文書の発掘）と臨時理事会

・11月19日（土）10:00～12:00に203研修室で実施した。米沢市報に行事掲載の申込を行ったが掲載にならなかった。理由は明らかでないが残念な判断である。

・解読相談は、米沢図書館経由で1名（佐治産業の佐藤さん）の相談があり、手紙等の文書240点ほど、書冊など18点を持参した。2023年2月初旬までに文書の目録を作成し、書冊は本人の希望により図書館に寄贈し、文書は目録とともに本人に返還した。プライバシーの問題から文書は図書館に寄贈することは本人が希望しなかった。なお書冊のうち文政12年分限帳（下）について、図書館に（上）のみがあり、これで上下が揃ったとのこと。

・相談会終了後、昼食をとりながら、臨時の理事会を開催した。

## 7. 例会教材

・I部：直江状を2022年1月から5月まで読み（講師川崎、平賀）、その終了後2022年6月から高橋捷夫家文書を教材とした。三扶持方であった高橋家の先祖が藩に提出した勤書、宗門改帳などの控えで幕末から明治の記録である。

・講師は次の通りである。

I部 高橋捷夫家文書 高橋捷夫・平賀陽子・中村恵子

II部 式目 中村善治・高橋育子・高橋敬一

国政談（下） 石黒志保・川崎和子・坂部正博

・なお、石黒さんは勤務先が米沢図書館から山形大学になり2023年3月から山形市に転居するため、2023年1月の講師が最後となった。

## 8. インターネットの利用

- ・米沢古文書研究会のホームページを作成している。例会の予定、教材などを掲載している。

<http://yonezawakomonjo.web.fc2.com/>

- ・ホームページの「一口メモ」に例会で話題になった用語などの簡単な解説がある。

## 9. 市立図書館のサポーター活動

- ・市立米沢図書館デジタルライブラリー掲載などの古文書解説（現在は、「越後古実聞書」と上杉文書所収の戊辰文書）を水曜日午後2時から行っている。最終的に、解説したものはファイルとして図書館に提出する。
- ・マイクロフィルムのデジタル化作業は、コロナ対策のため、多数集合せず、各自の日時を重ならないようにして実施することにしており、新聞、紹襲録（終了）、勤書などのデジタル化を実施している。
- ・活動参加には図書館のサポーター登録が必要。（サポーター登録すると、博物館の企画展示の無料招待券がもらえる）

## 10. 新入会会員ほか

- ・3名の入会があった。
- ・会員の川口雅子さん（長く監事を勤めてもらいました）、もと会員の岩槻代寿さん（理事や講師を勤めてもらいました）のお二人が逝去された。2022年2月には山王堂初雄前会長も亡くなり、40周年当時に在籍の会員がおられなくなった。

## 11. 資料集作成

- ・60周年（2026年）記念として資料集を発行できるように準備しており、例会担当を中心に、米沢藩の職制や歴代米沢藩主について、紹襲録や任職叢考などを参考に整理する事から始めている。

## 12. その他

- ・米沢有為会副会長の加藤国雄さん（横浜市在住）が「上杉鷹山の藩政改革と金主たち～米沢藩の借金・再生史」をオンデマンド出版し、複数部寄贈があり、会員で廻し読みしている。
- ・米沢図書館主催の古文書講座が実施され（2023年2月中）、会員が参加した。
- ・長井市史近世編が出版され、「近世後期の米沢藩と上杉鷹山の藩政改革」の部分会长が執筆した。

以上

## 2023 年度

### 米沢古文書研究会事業（案）

#### 1. 例会日程

I 部（第 3 土曜日） （高橋家文書、増補旅使奏訓）	II 部（第 4 土曜日） （式目、国政談下）
2023 年 4 月 15 日 総会	4 月 22 日
5 月 20 日	5 月 27 日
6 月 17 日	6 月 24 日
入門講座を 7 月 1 日，8 日の各土曜日午後 1 時 30 分～4 時（案）	
7 月 15 日	7 月 22 日
9 月 16 日	9 月 23 日
10 月 21 日 研修旅行（案）	10 月 28 日 ミニ講演会
11 月 18 日（午前中 古文書解読相談会）	11 月 25 日
12 月 16 日（第 3 土曜日）	12 月 9 日（第 2 土曜日）
2024 年 1 月 20 日	1 月 27 日（新春茶話会）
2 月 17 日	2 月 24 日
3 月 16 日午前中理事会開催	3 月 23 日（例会後監査）

#### 2. 初めての古文書入門講座（本会主催）

教材：未定

日程：（案）7 月 1 日（土）、8 日（土） 午後 1 時 30 分～

講師：（案）平賀、川崎

#### 3. 研修旅行

内容：（案）長井市方面を候補として研修担当で具体案作成

日程：（案）10 月 21 日（土）

#### 4. 秋のミニ講演

講師：本川 功、日時：10 月 28 日（土）午後 1 時 30 分～（昨年同様に午後からとする）

内容：未定

## 5. 古文書解読の相談（各家庭に埋もれている古文書の発掘）

日程：2023年11月18日午前中に実施、午後は通常のI部例会を実施。

## 6. 例会講師と教材

石黒さんの代わりに国政談講師は塚原さんに依頼。

I部の高橋家文書は年内にも終わると思われるので、新教材の選定を行う必要がある。現在、教材の複写製本は会長が行っているが、協力者をつのる。

## 7. 資料集作成

60周年（2026年）記念誌になるように準備する。例会担当を中心に、紹襲録、任職叢考の解読を行っているが、今後、資料集全体の目次を検討し、全体の構成を策定する必要がある。資料集は、式目を読む参考資料集となり、できれば一般の人も米沢藩を知るために購入するような内容にできるようにしたい。

紹襲録、任職叢考の解読は、PDFでHPに掲載することも可能。

## 8. インターネットの利用

- ・米沢古文書研究会のホームページ（HP）を作成している。「一口メモ」にはいろいろな情報が掲載されている。

<http://yonezawakomonjo.web.fc2.com/>

- ・HPの「出版・教材・PDF」のページには、紙印刷出版の紹介のほかに、「総紙」「岩瀬小右衛門覚書」「邇言」解読のPDFファイルが掲載されている。

## 9. 市立米沢図書館のサポーター活動

- ・市立米沢図書館デジタルライブラリー掲載などの古文書解読を行う。

現在は、「越後古実聞書」（まもなく終了）、上杉文書の戊辰文書（まだまだ終わらず、難読）の二つを水曜日午後2時から図書館郷土資料室で高橋敬一・育子・川崎の3人で行っている。

- ・マイクロフィルムのデジタル化作業（新聞、勤書を行っている）
- ・参加にはサポーター登録が必要。（サポーター登録すると、博物館の企画展示の無料招待券がもらえる）

## 10. 第 66 回市立米沢図書館主催古文書解読講座への参加

例年どおりに可能な範囲で参加する。

なお、昨年度は難易度が高く、入門者には困難だったと思われる。

## 11. その他

・講師同士の連携と講師以外も含めた事前の打ち合わせ・準備などの機会を作る。

打ち合わせや勉強の場所としては文化センターの減免許可（許可番号 C-1）があるので、研究会として適宜申し込んで利用されたい（無料だが、冷暖房費は自己負担。なお、本年からコミセンは別途に減免申請が必要になった。）。

以上

---



## 米沢古文書研究会 会則

- 第1条 本会は米沢古文書研究会と称する。
- 第2条 本会の事務所を幹事宅に置く。
- 第3条 本会は古文書の解読技術を身につけ、郷土に伝わる古文書に親しみ、相互に学習・研究していくことを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 1 古文書解読学習会の開催。
  - 2 その他、必要な事項。
- 第5条 本会は、本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。
- 第6条 本会に次の役員をおく。
- |     |     |    |     |
|-----|-----|----|-----|
| 会長  | 1名  | 幹事 | 若干名 |
| 副会長 | 2名  | 監事 | 2名  |
| 理事  | 若干名 |    |     |
- 第7条 会長、副会長および監事は総会において推挙する。理事並びに幹事は会長が委嘱する。
- 第8条 役員任期は2ヵ年とする。但し再任をさまたげない。
- 第9条 会長は、会務を総括し、本会を代表する。  
副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代理する。  
理事は会長・副会長と共に理事会を構成し本会を運営する。  
幹事は会務の執行に当たる。監事は会計を監査する。
- 第10条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会にはかつて会長が委嘱する。
- 第11条 本会の会議は総会・理事会・幹事会とする。  
総会は年1回会長が招集し、会則の変更・予算・決算・事業計画・役員改選・その他 重要事項を審議する。
- 第12条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

## 附則

- 本会の会則は昭和62年4月18日から施行する。  
会則第2条を平成21年4月18日から改正・施行する。